

---

# 華子の子守唄

ごはんライス

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

華子の子守唄

### 【Nコード】

N8924N

### 【作者名】

ごほんライス

### 【あらすじ】

ケータイ対応小説です。絵文字を使っています。

「ねえ華ちゃん。子守唄歌ってよう。ぼく眠れないよう」

西田は華子に膝枕されながらわがママを言う。

「あなたもう33でしよう」

「歳なんて関係ないよ。お願い。お願い」

関係ないけど、華子は11歳である。西田の三分の一の年齢。

ちなみに現在、非正規労働者は全労働人口の三分の一、約1800万人います。

「ねんねーんころーりーよー。ころーりーよー」

西田はうとうとしてきた。

サーファーになつてる夢を見た。

?

?

?

??????

??????

ヒャッフー

華子は西田のメタボリックな身体を床に寝かせ、毛布をかけた。そして、机に向かった。まだ宿題をしてない。

華子もうとうとしてきた。魚になって飛んでる夢を見た。

?

?

???

わーい楽しいな

二人はとても仲がよいのでたまに夢の中でも出会う。

「よしおちゃん」

「華ちゃん」

二人で腕を組み、歩く。ちびな小学生とメタボリックなおっさん。実に怪しいが、夢の中なので、おまわりさんも素通りしている。

華子と西田は公園のベンチに腰かけた。

「ハンバーガーおいしいね」

「ね」

むしゃむしゃ食いながら、パンのかけらを鳩にあげたりする。

3

目が覚めると、華子はすでに26歳になっていた。

朝ごはんの準備を始める。

「ちよつと、よしお。朝よ起きなさい」

保育園児の息子を起こす。メタボリックな園児だ。

「ママあ。もうちよい寝かせてえ」

「だめ！保育園に遅刻する！」

華子はよしおに服を着させ、二人で食事にする。

よしおの父親つまり華子の旦那は去年交通事故に遭い他界している。華子は車でよしおを保育園まで送ったあと、そのまま職場へ向かう。華子の職場とは風俗店だ。最近不況で午前中も営業している。

「ももいろセクシー小学生」に到着。華子は店長にあいさつしたあと、ちびっこ服に着替え、ランドセルを磨く。ロリコンのための風俗店なのだ。

最初のお客はメタボリックな男性であった。

膝枕してというのでしてあげた。

「ねえ華ちゃん。子守唄歌って。ぼく眠れないよう」

西田は華子に膝枕されながらわがママを言う。

「あなたもう33歳ですよ」

「歳なんて関係ないよ。お願い。お願い」

r e p e a t

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8924n/>

---

華子の子守唄

2010年10月9日07時35分発行